

第五十回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十號

大正十四年二月十二日(木曜日)

午前十時十三分開議

議事日程 第十號 大正十四年二月十二日

午前十時開議

第一 預金部預金法案(政府提出)

第二 大藏省預金部特別會計法案(政府提出)

第三 臨時國庫證券收入金特別會計法廢止

法律案(衆議院提出)

第四 海上衝突豫防法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 粕谷義三

預金部預金法

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、沖原男爵病氣ニ付
キ會期中請暇ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第一、預金部預金法案、第二、大藏省預
金部特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

預金部預金法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月七日

第一讀會

第一讀會

第一讀會

預金部預金法

第一條 法律勅令ニ依リ大藏省預金部ニ預入ル現金ハ預金部預金トシ大
藏大臣之ヲ管理ス

第二條 郵便貯金トシテ受入レタル現金ハ之ヲ大藏省預金部ニ預入レ其ノ
利子ヲ以テ貯金利子ノ支拂ニ充ツヘシ

第三條 預金部預金ノ種類、利子及取扱ニ關シテハ大藏大臣之ヲ定ム

第四條 預金部預金並大藏省預金部特別會計ノ積立金及支拂上ノ餘裕金ハ
之ヲ預金部資金トシ預金部資金運用委員會ニ諮詢シ有利且確實ナル方法
ヲ以テ國家公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スヘシ

第五條 預金部資金ノ運用ニ關スル事務ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本
銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

令ヲ以テ之ヲ定ム

海上衝突豫防法中改正法律案可決報告書
同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

海上衝突豫防法中改正法律案可決報告書

一昨十日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第四回報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

會計検査院法中改正法律案

本法施行前大藏省預金部ニ於テ受入レタル預金ハ之ヲ預金部預金トス

預金規則第一條第三号ノ規定ニ依ル預金及其ノ預金ヲ以テ購入保管シタ

ル國債證券並明治三十九年勅令第二百十一號ニ依ル預金及預託ノ國債證券

ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノニ付本法施行後三月内ニ預ケ人之カ拂

戻ノ請求ヲ爲サアルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ預金ハ之ヲ郵便貯金ニ振

替ヘ國債證券ハ之ヲ郵便貯金法第九條ノ規定ニ依リ購入シタルモノト看做

シテ保管ス

大藏省預金部特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月七日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長柏谷義三

大藏省預金部特別會計法

第一條 大藏省預金部ノ會計ハ之ヲ特別トシ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充

第二條 本會計ニ於テハ預金部資金ノ運用利殖金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ
歲入トシ預金部預金ノ利子、運用手數料、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ
他ノ會計へ繰入ルル金額、事務取扱費、附屬諸費及運用損失金ヲ以テ其
ノ歲出トス

第三條 預金部資金ニ屬スル運用資產ニシテ價格ノ減損ヲ生シタルモノア
ルトキハ本會計ノ決算上生シタル剩餘又ハ積立金ヲ以テ之ヲ償却スヘシ

第四條 本會計ノ決算上剩餘ヲ生シタルトキハ前條ノ償却ニ充テ殘餘アル
トキハ之ヲ積立ツヘシ

本會計ノ決算上不足ヲ生シタルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スヘシ

第五條 所管大臣ハ日本銀行ニ命シ預金部預金ノ利子ノ支拂ヲ爲サシムル
爲之カ資金ヲ日本銀行ニ交付スルコトヲ得

第六條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共

ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ大正十四年度ヨリ之ヲ施行ス 附 則

明治二十三年法律第二十一號ハ之ヲ廢止ス但シ大正十三年度分預金特別會

計ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

預金特別會計ニ屬スル積立金ハ之ヲ本會計ニ歸屬セシム

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（濱口雄幸君）唯今、議題ニ上ボリマシタ預金部預金法案及大藏省預金部特別會計法案ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ致サウト存ジマス、大藏省預金部資金ハ戰爭前即チ大正三年六月末ニ於キマシテ二億九千餘萬圓デアリ

マシタモノガ、最近大正十三年十二月末ニ於キマシテハ十五億五千八百餘萬圓ノ巨額ニ上ボリマシテ、今後尙ホ年ヲ逐ウテ增加スルノ趨勢ヲ有シテ居ル

ノデアリマス、而モ本資金ノ大部分ハ多數國民ノ零碎ナル資金ノ預入ニ係ルモノデアルコトニ鑑ミマシテ、是ガ運用ニ付テハ最モ慎重ニ考慮ヲ拂ヒマシテ、適切公正ヲ期スルコトガ洵ニ緊要デアルト云フコトハ言ヲ俟タナイ所デアリマス、然ルニ本資金ノ運用ニ付キマシテハ、明治十八年太政官布告預金規則ニ於キマシテ、唯「大藏省中ニ預金局ヲ置キ驛遞局貯金其他ノ貯金積立金ヲ預リ之ヲ保管利殖セシム」ト云フ極メテ簡單ナル規定ガ存スルニ止リマシテ、何等法令上ノ制限ナク、全ク大藏大臣ノ專行ニ委ネテ居ルノデアリマスルガ故ニ、是マデ動モスレバ其運用ガ放漫不確實ニ流レルトノ非難ヲ招クニ至ツタノデアリマス、加之、預金部資金ノ收支經理ニ付テハ右ニ述べマシタ預金規則ニ於テハ殆ド何等規定スル所ガアリマセヌ、明治二十三年法律第二十一號ニ於テハ、其規定ガ存シテ居リマスケレドモ、此法律ハ單ニ利殖金及預金利子ニ付テノミ歲入歲出トシテ經理スルノ規定ヲ設クルニ過ギナイノデアリマシテ、要スルニ預金部資金ノ收支損益、資產ノ情況等ニ付キマシテ

ハ今日明確ナル經理ノ法制ガ存在シテ居ナイト云フ情況デアリマス、右ノ事態ニ鑑ミマシテ、政府ハ今回、行政財政ノ整理刷新ヲ行フ機トシテ、現行預金部制度ニ改革ヲ加フルノ急務ナルヲ認メ、慎重考究ヲ重ねタル結果、預金規則ハ之ヲ廢止イタシマシテ、新ニ預金部預金法ヲ制定シ、又明治二十三年法律第二十一號ハ之ヲ廢止イタシマシテ、大藏省預金部特別會計法ヲ制定スルコトニ致シマシテ、茲ニ是等ノ法案ヲ提出スルニ至ツタ次第デアリマス、先づ預金部預金法案ニ付テ其要點ヲ申上ゲテ見マスレバ、郵便貯金其他法律

勅令ニ依リ大藏省預金部ニ預入レル所ノ現金ハ之ヲ預金部預金トシテ大藏大臣ガ之ヲ管理シ、大藏省預金部特別會計ノ積立金及支拂上ノ餘裕金ト共ニ之ヲ預金部資金ト致シテ、有利且ツ確實ナル方法ヲ以テ、國家公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スルコトニ致シマシテ、特ニ諮詢機關タル預金部資金運用委員會ヲ設置イタシマシテ、本資金ノ運用ハ該委員會ニ諮詢シタル上、之ヲ決定イタシマシテ以テ運用ノ一層適切公正ラ期スルノ制度ヲ立テルコトニシタノデアリマス、而シテ該委員會ノ組織權限及資金運用ニ關スル詳細ノ規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトナッテ居ルノデアリマス、次ニ大藏省預金部特別會計法案ニ付キ一言イタシマスレバ、預金部ノ收支經理ノ完全ヲ期スルガタメ大藏省預金部特別會計ヲ設置スルコトニ致シマシテ、運用利殖金及附屬雜收入ヲ以テ其歲入トシ、是マデノ如ク預金ノ利子ヲ歲出トスル外ニ、運用手數料、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計其他ノ會計へ繰入ル、所ノ金額、事務取扱費、附屬諸費、運用損失金ヲ其歲出トスルト共ニ、從來預金利子ハ一般會計ヲ經由シテ支出スルノ制度デアリマシタノヲ改メマシテ、總テ支出ハ一般會計ヲ經由セズ、直接ニ本會計ヨリ之ヲ支出スルコトニ致シマシタ、尙ホ預金部資金ニ屬スル所ノ運用資產ハ之ヲ評價イタシマシテ價格ノ減損ヲ生ジタルコトトシタノデアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛アラムコトヲ希望スル次第アリマス

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ通告ニ依リマシテ菅原君ニ發言ヲ許シマス

〔菅原通敬君演壇ニ登ル〕

○菅原通敬君 私ハ簡單ニ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、私ノ御尋ネ致シマスル所ハ固ヨリ政府攻擊デハアリマセヌ、又固ヨリ八百長デハナイノデアリマシテ、純真ナモノデアリマスカラ、成ルベク御深切ニ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、預金部制度ノ改革ハ今回政府ノ行ハレムトスル所ノ行政財政整理ノ中ニアリマシテモ、最モ注目すべきモノノ一つ致シマシテ、私ハ大ニ之ヲ歡迎スルノデアリマス、從來、財界政界各方面ヨリ幾多疑惑ノ下ニ置カレテアリマス所ノ此預金部會計ナルモノガ、此度ノ改正ニ依リマシテ將來大ニ改善セラル、デアラウト云フコトヲ私ハ喜ブノデアリマス、預金部制度ノ改革ハ洵ニ結構デアリマス、何サマ、明治十八年太政官布告以來ノ改正ト云フコトデアルノデアリマスカラ、固ヨリ緊切ナコトデアル

ノデアリマス、併ナガラ制度ノ改正ハ唯將來ヲ律スルモノデアリマシテ、此度ノ御提案ニナリマシタ二法案ニ就テ見マシテモ、何等過去ノ整理ニ及ンデ居ラナイヤウナコトノアリマスノハ、私トシテ極メテ遺憾ニ感ズルノデアリマス、過日、衆議院ノ委員會ニ於テ政府ヨリ開示セラレマシタ預金部資金ノ運用内容ナルモノヲ新聞デ見タノデアリマス、之ヲ見テ世人何人カ之ニ驚カザル者ガアルデアリマセウカ、之ヲ見テ驚クト同時ニ、直チニ此後始末ハドウスルカト云フコトノ疑ヲ何人ト雖モ有ツデアラウト思フノデアリマス、デ此驚キト此疑トハ必ズ當然起ツテ來ヘキコトデアリマス、預金法案理由書ニ依リマスト云フト、「預金部資金ノ運用ヲ一層適切公正ナラシムルカ爲」云云ト書イテアリマス、即チ從來ノ運用ガ適切公正デアッタガ、尙ホ一層之ヲ適切公正ナラシムルト云フ意味ニナッテ居ルノデアリマス、從來、適切公正デアッタモノデアッタナラバ、何等茲ニ制度ノ改正ノ必要ガナイト思フノデアリマス、從來ノ運用ニ適切公正ナラザルモノアリシガ故ニ、茲ニ之ヲ改正スルトハ之ヲ認メル者ハ無カラウト思フノデアリマス、兎モ角、從來ノ運用ト云フモノハ適切公正ヲ得ザルモノガアッタ云フコトハ、唯今大藏大臣ノ御説明ノ言葉ノ中ニモ之ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、即チ不良貸付、不當貸付或ハ回収ノ不能ナルモノ、回収ノ容易ナラザルモノ等ノ數々モ含マレテ居ルト云フコトハ、是ハ何人モ否認シナイコトデアラウト思フノデアリマス、勿論、是等ノ運用ノ大部分ト云フモノハ歐羅巴大戰爭後ニ多ク屬スルノデアリマスカラ、當時ニ於キマシテハ國民皆醉ウテ居ツタ時代デアリマシテ、民間ト言ハズ、政府ト言ハズ、上下悉ク放漫政策ニ陥ルコトヲ免レナイヤウナ事情デアッタノデアリマスカラ、其事情ニ付キマシテハ、是ハ大ニ諒トシテ考ヘナケレバナラヌ點モアリマスケレドモ、兎モ角、茲ニ斯様ナ不始末ノ事実ガアルト致シマシタナラバ、之ニ付テハ如何ナル方針ヲ以テ之ヲ整理シテ行クカ、之ニ對シテハ如何ナル對策ヲ以テ之ニ臨ンデ行クカト云フコトニ付テハ、政府トシテハ相當ニ御考慮ニナラナケレバナラヌコトデナイカト思フノデアリマス、然ルニ唯將來ニ向ツテ制度ヲ改正シテ行クト云フダケノ態度ニ依ツテ之ニ御臨ミニナルト云フコトハ、聊カ物足ラナイヤウナ感ジガスルノデアリマス、デ、之ニ對シマシテハ政府ニ於カレマシテモ相當御苦心ノ

コトデアラウト思フノデアリマスガ、其御苦心ノアルダケ、此場合、其責任ノ所在ヲ明カニセラレテ置クト云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、此後始末ト云フモノヲ如何ニ爲サラウト云フノデアリマスカ、之ニ對スル御所信ヲ伺ツテ置キタインデアリマス、是ガ第一ニ御尋ネスル點デアリマス、次ニハ此郵便貯金ノ利子ノコトニ付テ御尋ヲ致シタインデアリマス、預金部ノ預金中ニハ郵便貯金ガ殆ド其九割ヲ占メテ居ルノデアリマス、從テ預金部ノ資金ノ運用ト云フコトニ付キマシテハ、此國民ノ零碎ナル資金ノ預入レテアル所ノ郵便貯金ト云フモノヲ運用スルコトデアルトシテ、之ヲ主眼トシテ考ヘテ行カナケレバナラヌモノデアラウト思フノデアリマス、サレバ今回ノ預金法案ニ於キマシテモ、有利確實ナル方法ヲ以テ國家公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スルト云フコトニ御定メニナッタ所以デアラウト思フノデアリマス、然ルニ此預金部ノ貸付金ハ、普通ニ低利資金ト稱セラレテ居リマスル通り、極メテ低利デアルノデアリマス、デ、其貸付ハ國家公共ノ利益ノ爲ニ爲スモノデアルト云フノデアリマスカラ、高利デアルト云フコトノ必要ハナイノデアリマス、イコトデアルノデアリマス、又預金部ハ營利ヲ目的トシテ居ルモノノデアリマスカラ、預金部ガ中間デ多ク儲ケルト云フコトノ必要ハナイノデアリマス、成ルベク低利デアルト云フコトハ必要トスル所デアリマスガ、サリナガラ之ヲ餘リニ低利ニスルト云フコトハ、一方ニハ大イナル弊害ヲ釀成スルノデアリマス、而シテ他方ニハ又預金者ノ利益ヲソレダケ殺グト云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマス故ニ、預金部ノ貸付ト云フコトモ、餘リ過當ニ低利デアルト云フコトハ宜シクナイコトデアルノデアリマス、デ、政府ニ於テハ四分八厘ニ預カツタモノヲ五分ニ貸付ケテモ損ハシナイト云フカモ知ラヌノデアリマスケレドモ、政府デ金ヲ借リル時分ニハ六分七厘、乃至九分ニモ、八分ニモ近イ所ノ金ヲ借リテ置キナガラ、假令特別會計デアルト申セ、四分五厘……八厘或ハ五分ト云フヤウナ……四分八厘ト云フモノハナカツタヤウデアリマスガ、五分ト云フヤウナ極メテ低利ニ於テ之ヲ貸付ケルト云フコトハ、餘リニ調子ノ合ハナイコトデアルト思フノデアリマス、而モ其低利資金ヲ利用スルモノノ中ニハ、銀行會社ノ救濟資金若クハ整理資金ト云フヤウナモノモ大分出テ居ルヤウニアルノデアリマス、是等ノ銀行會社ハ極メテ低利ノ預金部ノ資金ヲ借入レテ、唯其中間ニ在ツテ利鞘ヲ儲ケテ行クト云フコトダケニ依ツテ之ヲ處置シテ居ルモノモアルヤウニアルノデアリマス、是ハ取

リモ直サズ、其銀行會社ニ對スル一種ノ補助金デアリマス、其利鞘ニ相當スル金ヲバ其銀行會社ニ與ヘテヤルト云フコトト結果ハ同ジデアリマス、而モ其補助金ト云フモノハ誰が出シテ居ルノデアルカト云フト、預金者ノ利益ヲ殺イデ之ヲ與ヘテ居ル結果ニナルト云フコトヲ見ルニ付キマシテハ、甚ダ公正適切ナル所ノヤリ方デアルトハ言ハレナイコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、茲ニ於テ私ハ郵便貯金ノ利子割合ヲモット之ヲ引上ゲルノ必要ガアルト云フ感ジヲ起スノデアリマス、御承知ノ通リ郵便貯金ノ利子割合ハ唯今年四分八厘ト云フコトニ定メラレテアリマス、而モノレハ預入レノ月ト拂戻シノ月トニハ利子ヲ附セナイト云フ定メニナッテ居リマスカラ、之ヲ通算シテ見ルト云フト漸ク四分ソコ／＼ニシカナラヌノデアリマス、デ、此四分八厘ト云フ利子割合ハ何時定メラレテ居ルカト見マスルト、三十八年ノ勅令ニ依ツテ定メラレテ居リマス、更ニ之ヲ遡ツテ見マスルト三十一年ノ勅令ニモ矢張リ四分八厘ト云フコトニナッテ居リマスガ、更ニ又之ヲ遡ツテ調ベテ見マシタル所ガ、明治十七年ノ農商務卿カラ太政官ニ届出デラレテアル所ノ改定約定書ト云フモノニ其淵源ヲ發シテ居ルノデアリマス、サウシテ見ルト云フト今日ニ至ル此四十有餘年間ハ、此四分八厘ト云フ郵便貯金ノ利子割合ハ其儘釤付ケニナツテシマッテ居ル、少シモ改正ハセラレテ來テ居ラナイ、市場ノ金利ガドウナラウトモ、財界ノ情況ガドウ變ハラウトモ、ソレニハ無頓著ニ、全ク沒交渉ニ、從來ノ仕來リノ儘ノ惰力ニ依ツテ、其儘推移セラレテ今日ニ來テ居ルモノデアルト見ルヨリ外ナイノデアリマス、デ、郵便貯金ノ利子ガ四分八厘ト云フ低利ニ依ツテ、而モソレガ實際ニ於テ四分一二厘ニシカモ當ラスト云フヤウナコトデハ、如何ニシテ一體國民ノ貯蓄ヲ獎勵スルコトガ出來ルデアリマセウカ、サレバ是マデモ郵便貯金ノ利子ノ引上ゲト云フコトニ付テハ度々説モアッタノデアリマス、デ、現大藏大臣濱口君ナドモ嘗テハ其論ヲ唱ヘラレタコトモアルヤウニ私ハ記憶イタシテ居リマス、然ルニコトニ付テハ度々説モアッタノデアリマス、デ、復興貯蓄債券ナント云フモノモ發行セラレテ居ル、而シテ盛シニ勤儉貯蓄ヲ獎勵セラレテ居ル此場合デアリマスカラ必ズヤ郵便貯金ノ利子割合ヲ高ムルト云フコトニ付テハ相當ナル御考慮ヲ費サレテアルコトト自分ハ信ジテ居ツタノデアリマス、然ルニ先回、大藏大臣ガ衆議院ニ於テ御述ベニナッタ所ヲ速記録アリマス、

ニ就テ見テ見マスルト、大藏大臣ハ郵便貯金ノ利子引上ゲニ付テハ御贊成ニナツテ居ラヌヤウデアリマス、又寧ロ之ヲ引上ゲルト云フコトハ策ノ得タルモノニアラズト言ツテ反対ノ意思ヲ表明セラレテ居ルノデアリマス、其理由トル所ハ若シ郵便貯金ノ利子割合ヲ高ムルコトニナレバ、國家公共ノ利益ノ爲ニ貸付クル所ノ貸付金ノ利子割合モ之ヲ高メテ行カナケレバナラヌト云フコトニナルノデ、此兩者ノ合致ヲ得ルコトガ出來ナイト云フガ爲ニ反対デアル、斯ウ云フヤウニ言ハレテ居ルノデアリマスガ、是ハ私ト致シマシテハ甚ダ實ハ感服イタサヌノデゴザイマス、私思フニ此郵便貯金ハ國家ノ經營スル所ノ所謂國營ノ貯蓄機關デアリマス、ドコマデモ國民ノ勤儉貯蓄獎勵ト云フコトヲ其本旨トシテ考ヘナケレバナラヌコトデアラウト思フノデアリマス、之ヲ國家公益、公共ノ利益ノ爲ニ貸付クルト云フヤウナコトハ、是ハ單ニ其貯金ノ一ツノ運用方法ニ過ギナインデアリマス、ドチラガ主デアッテ、ドチラガ從デアルカ、コ、ハ能ク考ヲ要スル所デアルト思フノデアリマス、勿論、郵便貯金ノ利子ヲ高メタガ爲ニ貸付ノ利子モ高メナケレバナラズ、貸付ノ利子ヲ高メネバナラヌガ爲ニ、其運用ノ方法ガ十分出來兼ネル、斯ウ云フ風ノコトデアリマスナラバ、ソレハ勿論考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、サリナガラ今日ノ低利資金ハ先刻申シマシタ通り過當ニ安イノデアリマス、今ノ五分ノ貸付ヲ五分五厘ニ致シマシテモ、六分ノ貸付ヲ六分五厘ニ致シマシテモ、矢張リ低利ハ低利デアリマス、低利資金ハ低利資金デアリマシテ、世間ノ普通ノ金利ヨリハ頗ル安イノデアリマス、決シテ其運用ニ困ルヤウナコトハナイノデアリマス、サウデアリマスカラ今日ノ郵便貯金ノ利子割合ヲ五分ニ上ダマシテモ、或ハ五分五厘ニ上ダマシテモ、之ヲ公共ノ利益ノ爲ニ運用シテ行クト云フコトニ付テハ少しモ困難ハナイト思フノデアリマス、而モ此低利資金ナルモノノ非常ニ安イト云フコトハ、先刻申シマシタ通りニ、一方ニ非常ナル弊害ヲソレニ依ッテ釀成スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、寧ロ之ヲ相當ニ高メルト云フコトガ宜シイノデハナイカ、デ公共ノ利益ノ爲ニ運用スル其貸付金ヲ成ルベク安クシテ置クト云フコトハ、是ハ結構デアリマス、是ハ結構ナコトデアリマスケレドモ、多數國民ノ貯蓄者ノ利益ヲ殺イデ、ソレニ與ヘテヤラナケレバナラヌト云フコトハナイト思フノデアリマス、ソレハ社會政策上カラ論ジマシテモ、大イニ考究シナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、デ、或ハ申スデアリマセウ、成程、郵便

貯金ノ利子割合ハ安イカモ知ラヌ、安イカモ知ラヌケレドモ、國民ハ未ダ何モ懇ヘテ居ラヌデハナイカ、其證據ハ郵便貯金ハ年々非常ナル割合ヲ以テ増加シテ來テ居ル、ソレニ依ッテ見テモ郵便貯金ノ利子割合ハ何モ安過ギルト云フコトハナイデハナイカ、國民ハソレダケノ必要ヲ懇ヘテ居ラヌ、斯ウ言ハレルカモ知リマセスガ、郵便貯金ノ年々增加シテ來ルト云フコトニ付テハ、色ゝ原因モアルデアリマセウ、又若シ此利子割合ヲ高メルコトニナリマシタラバ、郵便貯金ノ增加ト云フモノハ、或ハ今日ヨリモマダ數倍スルカモ知ラヌ、又假令國民ノ方カラ利子引上ゲノ要求ガナイトシテモ、其零碎ナル資金ヲ預入レタガ爲ニ得ラルベキ利益ヲ與ヘズニ置クト云フコト……當然與ヘテ然ルベキモノヲ國民ガ黙ッテ居ルカラ與ヘナイト云フヤウナヤリ方ハ、是ハ決シテ宜シキヲ得タモノデハナイト思フ、又或ハ郵便貯金ノ利子割合ヲ高ムルト云フコトニナレバ、一般市場ノ金利ヲ高ムルニ至ル虞レガアルト云フコトヲ申サレルカモ知レマセスガ、是ハ私ハ郵便貯金ノ利子割合ヲ高メマシテモ、一般市場ノ金利ニ影響スルトハ考ヘマセヌ、一步譲リマシテ、假ニ其虞レガアルト致シマシタ所ガ、其虞レアル爲ニ國民ノ利益ヲソレノ犠牲ニ供セシムルト云フコトハ宜シクナイト思フノデアリマス、又或ハ郵便貯金ノ利子割合ヲ高ムルコトニナレバ、國民ノ貯蓄ハ多ク郵便局ニ集マルト云フコトニナツテ、銀行ノ預金ヲ減ラスト云フヤウナ虞レガアリハシナイカ、ソコニ顧慮セラル、コトモアラウト思フノデアリマスケレドモ、私ハ斯カル問題ニ付テ、左様ナ御考慮ハ御無用ノコトデアルト考ヘルノデアリマス、斯様ナ譯デアリマシテ私ハ郵便貯金ノ利子割合ヲ高メラレルノ必要ガアルト思フノデアリマスガ、政府ニ於テハ如何ニ御考ヘニナルノデアリマスルカ、果シテ衆議院ニ於テ御述ベニナツタ通リノコトデアリマスカ、又ソレハ私ノ解釋違ヒデアリマスカ、大藏大臣ノ御意見ヲ御伺ヒスルモノデアリマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今、菅原君ヨリ二箇條ノ御質問ガアリマシタ、之ニ御答フ申サウト思ヒマス、第一問ハ預金部ノ資金ヲ從來各方面ニ貸付ケテ居ル、中ニハ放漫不確實、或ハ不良ノ貸付ト認ムベキモノガアル、此整理、此始末ヲ如何ニスル積リデアルカ、此度ノ政府ノ提案ニ依レバ、將來ニ向テ預金部ノ改善ヲ圖ル、預金部資金ノ運用ニ付テ適切公正ヲ期スルト云フコトハ誠ニ結構ナコトデアルケレドモ、ソレト同時ニ既往ノ貸付ヲ如何ニ整理

スベキヤト云フコトニ付テ政府ノ意見ヲ考慮シナケレバナラヌ、此點ニ付テハドウ考ヘルカト云フ大體ノ意味ノ御質問デアリマシタ、預金部ノ資金ノ既往ノ貸付ニ付キマシテハ唯今菅原君ガ御指摘ニナリマシタ通リ衆議院ノ委員會ニ於テ委員諸君ノ要求ニ依リマシテ、或程度マデ之ヲ公表イタシタノデアリマス、御覽ノ通り其貸付ハ非常ニ多岐ニ瓦ツテ居リマス、私ハ其既往ノ多岐ニ瓦ツテ居ル所ノ貸付ガ必シモ放漫デアリ、不確實デアリ、不良デアルト云フコトハ申シタクナイノデアリマス、何レ詳細ノコトニ付キマシテハ此法案ノ委員會ノ席ニ於テ内容ヲ詳シク申上ゲル機會モアラウト考ヘマスルガ、兔ニ角、其當時ノ政府當局ハ是等ノ貸付ヲ致シマスルニ付テ相當見ル所ガアリ、又事情已ムヲ得ザルモノガアツテ此貸付ヲ行ハレタコトデアラウト思ヒマス、其是非善惡ニ付キマシテ今日ヨリ之ヲ評論スルコトハ私ハ致シタクナイト思ヒマス、唯、唯今法案ノ説明ノ場合ニモ申上ゲマシタ通り、從來ノ貸付方ハ兔ニ角、放漫、不確實ニ流レテ居ッタト云フ非難ハ確ニアリマス、其既往ノ貸付ノ善惡ニ拘ラズ、現政府ノ當局ニ於キマシテハ將來ニ瓦ツテハ成ルベク左様ナル貸付ハ致サナイト云フ方針デアリマス、將來ニ向ッテハ左様ナ方針ヲ執リマスガ、既往ノ事實ニ至ッテハ是ハ如何トモスルコトガ出來マセヌ、假令其貸付ハ放漫デアッテモ、不確實デアッテモ、中ニ幾分カ不良ノモノヲ包含シテ居ルト致シマシテモ、今日ニ於テハ是ハ既成ノ事實デアリマス、既ニ出來テ居ル所ノ事實デアル、此既成ノ事實ヲ現内閣ハ認メナイ譯ニハ參リマセヌ、ソレ故、既往ノ貸付ノ分ニ對シマシテハ、政府ノ方針ト致シマシテハ其既成ノ事實ハ事實トシテ之ヲ認ムルト云フ其點ニ立脚イタシマシテ、將來ニ向ッテ出來得ルダケ其整理、貸付金ノ回収ニ努ムルト云フコトヲ申上ゲル外ハナイノデアリマス、幸ニ致シマシテ今日マデノ所デハ貸付ケテアリマス所ノ各方面共ニ利子ノ支拂ハ遲滯ナク行ハレテ居リマス、既往ノ實蹟ハ其通リデアリマスガ、將來ニ瓦ツテ果シテ貸付ノ條件ガ完全ニ履行サルヤ否ヤト云フコトニ付テハ責任ヲ以テ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、出來得ルダケノ手段ヲ盡シマシテ貸付金ノ整理並ニ其回収ニ努ムルト云フコトヲ御質問ニ對シテハ御答ヲ申上ゲル外ハナイノデアリマス、ソレガ第一點デアリマス、第二點ハ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲル必要ヲ認メナイカ、ト云フ點ニ付キマシテ各方面カラ觀察ヲ致サレタル所ノ理由ヲ御述ベニナリマシテ、郵便貯金ハ申ス迄モナク確實ヲ旨トスルモ

ノデアリマシテ、僅少ナル利子ノ高低如何ニ依ツテ必シモ其貯金ガ増減スルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ郵便貯金ノ利子ニ致シマシテモ經濟全體ノ情況、金融界ノ大勢ト云フモノト全然沒交渉ニ之ヲ定メル譯ニハ參ラヌト思ヒマス、例ヘバ一般金融界ノ情勢ニ於テ金利ノ騰貴ハ已ムヲ得ザル所ノ趨勢デアルト云フ場合ニ於テ、而モ其騰貴ノ趨勢ガ一時的ノモノデナクシテ相當繼續性ヲ有ツタモノデアルト云フコトヲ政府ハ認メマシタ場合ニ於テハ、郵便貯金モ其趨勢ニ從ツテ引上ゲラスル必要ガアラウト思ヒマス、其反對ニ金利ノ大勢ガ低落ニ傾ク、而モ其低落ノ趨勢ハ是亦相當永續性ヲ有ツタモノデアルト云フコトヲ確認スル場合ニ於テハ、郵便貯金ノ利子モ亦之ニ或程度マデハ追隨ヲセナケレバナラヌモノデアラウト思ヒマス、然ラバ其見地カラ考ヘマシテ現在ノ金融界ノ大勢ハ、金利ノ趨勢ハ果シテ騰貴ノ傾向ヲ有ツテ居ルカ、而モ其騰貴ノ傾向ガ假ニアリト假定シテ、ソレハ永續性ノモノデアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、將來ハ兔ニ角、目下ノ情況ニ於キマシテハ政府ノ見ル所デハ、ドノ點カラ考ヘマシテモ、今日ノ金利ガ騰貴ノ趨勢ヲ有ツテ居ルモノト見ルコトハ出來マセヌ、假令一時騰貴スルコトガアリト假定シマシテモ、其騰貴ハ繼續性ヲ帶ビテ居ルモノト見ルコトモ出來マセヌ、果シテ然ラバ此場合ニ於テ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルト云フコトハ金利ノ趨勢、金融界ノ大勢上カラ如何デアラウカト思ヒマス、其次ニハ菅原君モ御質問ノ中ニ御指摘ニナリマシタ通リニ、此際ニ於テ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲマスト云フト是ハ直チニ貯蓄銀行ノ貯金利子ニ影響スルト見ナケレバナラヌ、其影響ハ獨リ貯蓄銀行ノミノ貯金利子ニハ止マリマスマイ、延イテ一般ノ銀行ノ預金利子ニ影響スルコトガナイトハ斷言ガ出來ナイト思ヒマス、其事柄ガ果シテ今日ノ情勢ニ於テ適當ナルヤリ方デアリヤ否ヤト云フコトハ大イニ考慮ヲ要スル事柄デハナイカ、第三ニハ是亦菅原君ガ御質問ノ際、御述ベニナリマシタ通り、今日或ハ地方ノ産業資金、或ハ社會政策ノ資金ト致シマシテ仰グ所ノモノハ此預金部ノ資金デアリマス、其預金部ノ資金ノ中ノ大部分ハ利資金ガ或程度マデ利子ガ上ガツテモ差支ガナイト云フ如キ御意見モアッタヤウデアリマスガ、政府ハ左様ニハ考ヘテハ居リマセヌ、無論極端ナル低利ハ必シモ希望スル所デハアリマセヌガ、今日ノ程度以上ニ於テ、他ニ重大ナル

原因ナクシテ低利資金ノ利子ヲ引上ゲナケレバナラスト云フ如キ、政府ガ處置ヲ執ルト云フコトハ、目下ノ情勢ニ於テハ餘リ面白クナイ事デハナイカ、斯様ニ考ヘマス、以上三箇ノ理由カラ致シマシテ、今日政府ハ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルト云フ考ヲ有ツテ居ナイノデアリマス、唯今、菅原君ハ低利資金ノ弊害ヲ御舉ゲニナリマシタ、例ヘバ預金部ノ金ヲ以テ低利ニ銀行ニ貸付ケル、其銀行ガ安ク借りタ所ノ金ヲ以テ普通ノ利率デ事業資金ニ貸付ケ、其利鞘ヲ以テ銀行ノ整理ヲ圖リ、或ハ其利益ヲ増進スルト云フコトハ、是ハ目下ノ通弊デアル、從テ低利資金ノ供給ト云フコトモ、其弊害ヲ伴フモノデアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト云フ御意見ノヤウデアリマシタ、是ハ如何ニモ御尤ナ御意見ト思ヒマス、若シ政府ガ將來ニ瓦ツテ、或ハ特殊ノ銀行、特殊ノ會社等ニ、是マデノ如クニ低利資金ヲ供給スルト云フ方針ヲ改メナインデアルナラバ、御意見ノ如キ弊害ガ生ズルカモ知レマセヌガ、此内閣ト致シマシテハ、成ルベク左様ナル貸付ハ致シタクナイト云フ考ヲ有ツテ居リマスカラ、自然ニ其弊害ハ除クコトガ出來得ルデアラウト思ヒマス、又菅原君ノ御話ニアリマシタガ、私ガ嘗テ郵便貯金ノ利子引上ゲノ議論ヲ唱ヘタト云フコトヲ申サレマシタガ、如何ニモ其通リデアリマス、其當時ハ金融界ノ情勢、一般經濟界ノ趨向ニ鑑ミマシテ、私ハ金融ヲ引緊メナケレバナラスト云フ考ヲ有ツテ居ッタ場合デアッタ、從テ一面ニ於テハ通貨ノ收縮ヲ唱ヘ、其手段ト致シマシテ日本銀行ノ金利引上ゲルト唱ヘ、郵便貯金ノ利子ノ引上ゲルト唱ヘタコトガアリマス、其當時ノ財界ノ情況ト今日トハ全然趣ヲ一變イタシテ居リマス、ソレカラ今日ノ郵便貯金ノ利子ハ四分八厘デアリマスガ、菅原君ニ從ヘバ明治十七八年頃カラ釘付ケノ利率デアルト云フコトデアリマスルケレドモ、私ノ持ツテ居ル所ノ表ニ依リマスレバ、郵便貯金ノ利子ハ屢々變動ヲ致シテ居リマス、最モ高カツタ時ハ、明治十四年カラ十七年ニ至ルマデ三箇年續イタ所ノ七分二厘デアッタノデアリマス、ソレニ次イデハ六分ノコトモアリマス、五分四厘ノコトモアリマス、最モ低カツタ時ハ明治七年ノ三分、次イデ明治九年ノ四分、斯様ニ高低區々ニナツテ居リマス、サウシテ今日ノ四分八厘ハ、イツカラ實施サレタカト申シマスレバ、ソレハ大正四年ノ四月カラ四分八厘ニ改定ヲサレテ居リマス、其前ニ於テハ四分二厘デアッタノデアリマス、斯様ニ致シマシテ郵便貯金ノ利子ハ長イ間、左様ニ釘付ケニナツテ居ル程デモアリマセヌ、時ニ變動ガアリマス、最近ノ利率ハ大正四年四月カラ

繼續ヲ致シマシテ今日ニ至ツテ居ル情況デアリマス、以上申上ゲマシタ理由ニ依リマシテ、政府ハ今日ノ所ニ於テ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルト云フ考ハ有ツテ居リマセヌシ、又其必要ヲ認メテ居ナイノデアリマス〇菅原通敬君、唯今詳細ニ伺ッタノデアリマスガ、大體諒承イタシャシタガ、預金部預金ノ經理ニ付キマシテハ、既往ノ事ハ既往ノ事トシテ成ルベク回収ニ努メテ其損失ヲ少カラシムルコトヲ期スル、此以上ニハ今日ニ於テ何等言フコトガ出來ナイ、云フヤウナ大體ノ御趣意ニ伺ッタノデアリマス、特別會計法ニ依リマスルト云フト、運用ノ損失金ハ之ヲ歳出トシテ經理シ、運用資產ノ價格減損ハ剩餘金又ハ積立金ヲ以テ之ヲ補填スル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、將來起ルベキ缺損若クハ損失ト云フヤウナモノハ、之ニ依ツテ整理ハ出來テ行クダラウト思フノデアル、サリナガラ過去ニ於ケル缺損ト云フモノハ、大藏大臣ノ御陳述ノ中カラ察シマシテモ決シテ少額ト云フヤウナモノデハナイト思フノデアリマス、ナカニ巨額ニ達スルダラウト思フノデアリマス、デ、之ニ對スル缺損ヲ此特別會計法ニ規定シテ居ルヤウナ方法ニ依テ經理シテ行カウト云フコトニナリマスト、是亦頗ル困難ナコトニナラウト思フノデアリマス、強ヒテ缺損ノ財源ヲ作ラウト致シマスレバ、預金者ノ利益ヲ殺グカ、或ハ貸金ヲ受ケタ者ノ利益ヲ殺グカ、即チ預金ノ利率ヲ引下ゲルカ、貸付ノ利率ヲ高メルカ、ソレ等ニ依ツテ無理ニ剩餘金デモ作ツテ來ルト云フコトデナケレバ財源ハ出來ナイ、結局、是ハ國民ノ負擔ニ轉嫁セラルト云フコトニナリハセヌカト思フ、恰モ臨時國庫證券特別會計法ノ二ノ舞ヲ演ズルヤウナコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、是ハ甚ダ憂フベキ縷々御説明モアッタノデアリマスガ、如何ニモ郵便貯金ノ利子割合ノ如キモデアリマス、ソレカラ郵便貯金ノ利子引上ゲノコトニ付テ大藏大臣ハ矢張リ唯今ノ所、其必要ヲ認メテ居ラスト云フコトデゴザイマス、ソレニ付キマシテコトデアリマスカラ、ドウゾ精々其御整理ニ當ラレルコトヲバ希望スルノデアリマス、ソレカラ郵便貯金ノ利子割合ノ如キモノガ今ノ金利ノ關係ナリ、金融界ノ情況ナリニ適當ナルモノデアルト御認メニナルカ否ヤ、今ノ金利ハ私ハ低過ギルト思フ、大藏大臣ハソレヲ適當ナルモノト認メテ居ラル、ト云フコトデアルナラバ、將來之ヲ改正スルト云フハ勿論ノコトデアリマス、勿論ノコトデアリマスガ、現在ノ四分八厘ト云フ此一般金融界ノコトナリ、金利高低ノ趨向ニ考ヘテ行カナケレバナラヌコトハ勿論ノコトデアリマス、勿論ノコトデアリマスガ、現在ノ四分八厘ト云フモノガ今ノ金利ノ關係ナリ、金融界ノ情況ナリニ適當ナルモノデアルト御認メニナルカ否ヤ、今ノ金利ハ私ハ低過ギルト思フ、大藏大臣ハソレヲ適當ナルモノト認メテ居ラル、ト云フコトニ考ヘテ行カナケレ

バナラヌト云フコトニナリマス、コ、ガ私ノ見ル所ト違フノデアリマス、今ノモノガ適當ナモノデアッテ將來ニ考ヘテ之ヲ直シテ行カナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ別問題……私ハ今ガ既ニ安過ギルノデアルカラ、今ガ既ニ安過ギルノデアルカラ、之ヲ適當ニ直スト云フコトガ必要デアル、而モ之ヲ今ガ安過ギルト私ノ申スノハ先刻申シマシタ通り、多年釘付ケニセラレテ居ルカラ、一向金利ノ趨勢トカ財界ノ情況トカ云フヤウナコトニハ考ヘラレズ、是トハ全ク沒交渉ニ唯惰力的ニ出來テ居ルカラト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、私ハ矢張リ斯様ニソレハ信ジテ居ルノデアリマス、大藏大臣ハ郵便貯金利子ノ割合ノコトハ何モサウ釘付ケニナッテ居ルデハナイ、大分時ニ依ツテ變ッテ來テ居ルト云フノデ、明治七年トカ八年ノ變ハッタコトマデ御引用ニナリマシタガ、私ハソンナヤウナコトマデ伺フ必要ハナイト考ヘル、明治七年九年アセラレテ來テ居ルモノデアルト云フコトハ信ズルコトハ出來ナイノデアル、成程、六分以上ノコトモアリマシタ、七分以上ノコトモアリマシタ、之ニ付テハ金額ニ制限ガアルト云フコトヲ御承知願ヒタイ、私ノ記憶スル所デハ金額ニ付テ制限ガアッタ、四分八厘ト云フ淵源ハ何處ニアルカ、四分八厘ニナッタノハ何時カラカ、ソレハ明治十七年ノ太政官ノ通知セラレタル農商務卿ノ改定約定書ニ現レタノガ四分八厘、其四分八厘ト云フコトハ、コ、カラ淵源ヲ發シテ居ル、斯ウ申シタノデアリマス、勿論其當時ニ於テハ全部四分八厘デハアリマセヌ、金額ニ依ツテハ六分ト云フヤウナコトマデアリマシテ、私ハ何等過去ノ歴史ガサウ變ハッテ居ルカ、變ハッテ居ラヌカト云フコトニ付テハ餘リ多ク論ズル必要ガナイノデアリマス、兎モ角、四分八厘ト云フモノハ世ノ中ノ金利ノ情況トカ財界ノ趨勢トカ云フモノニ依ツテ今マデ改正セラレテ來テ居ラナイ、是ダケハ事實デアリマス、ソレデアリマスカラ今ノ四分八厘ハ餘リニ安過ギハシナイカ、私ハ安過ギルト思フ、是ガ安過ギルト云フコトヲ前提ニ置イテ、將來之ヲ改正スル意志ガアルカ否ヤト云フコトヲ今伺ヒタイノデアリマス、私ハ大藏大臣ガ嘗テ金利引上ゲノコトヲ御論ジニナッタ其事ニ付テ彼此申スノデハアリマセヌ、之ニ付テ御辯明モアリマシタガ、ソレヲ私ハドウト云フノデハナイ、無論情況ガ變ハッテ居ルノデアリマス、時ニ考モ變ハッテ來ナケレバナラヌ、私ハソレヲ申スノデハアリマセヌガ、嘗テハ唯斯ウ云フヤウナコトモアリマシタ云フコトヲ申上ゲタニ過ギナイノデテリマ

ス、今日ノ御意見ヲ伺ヘバ宜シイノデアリマス、結局、今日ノ四分八厘ト云フモノハ適當ナルモノト御考ヘニナッテ居ルノデアルカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（濱口雄幸君） 御答へ致シマス、明治四十三年ノ四月カラ四分二厘ニナッテ居リマシタモノガ大正四年ノ四月ニ四分八厘ニ改定サレマシテ、其以來、丁度十年ノ間、四分八厘ノ率ヲ維持シテ居ルノデアリマス、此十年ノ間ニ於テ日本ノ經濟界ニハ容易ナラザル變化モアッタノデアリマス、金利モ屢々變動イタシタニ拘ラズ、十年間四分八厘ヲ維持シテ今日ニ至ツテ居リマスル、其郵便貯金ノ利率ヲ今日ニ至ツテ之ヲ變改セムトスルナラバ、改正ヲ必要トスルダケノ相當ノ強イ理由ガナケレバナラヌ、私ハ其強イ理由ヲ發見スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ此四分八厘ガ適當デアルヤ否ヤト云フコトハ、數字的ニ之ヲ立證スルコトハ困難デアリマスケレドモ、十年間現狀ヲ維持シタモノヲ、ソレヲ變ヘヤウトスルナラバ、改正ヲ主張スル側ニ於テコレ／＼ノ理由ガアルガ故ニ之ヲ五分ニシナケレバナラヌ、斯様ナル數字ガ舉ガツテ來ル故ニ五分四厘ニセナケレバナラヌト云フ、寧ロ變ヘヤウトスル側カラ之ヲ立證シナケレバナラヌ事柄デアリマス、私自ラ考フルニ、ドウシテモ之ヲ改正スルノ理由ヲ具體的ニ發見スルコトガ出來マセヌカラ十年間續イテ來マシタ所ノ四分八厘ヲ今日ニ於テハ之ヲ維持スルコトガ適當デアルト申上グル外ニハナイノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 マダ通告ガゴザイマスカ

○議長（公爵德川家達君） モウ通告ハゴザイマセヌ

○男爵阪谷芳郎君 質問ヲ致シタイ……

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 私ハ此預金部ノ改正法ニ付キマシテハ、聊カ立法ノ精神ヲ伺ツテ後ノ誤解ノナイヤウニ致シテ置キタイト思フノデアリマス、先刻、大藏大臣ノ説明ノアリマシタ通り、大藏省預金ハ永イ歴史ヲ有ツテ居ル、従ヒマシテ憲法制定ノ際ニ此預金ト云フコトニ付テ大分議論ガアッタ、政府ガ預金ヲ持ツテ銀行見タヤウナコトヲシテ善イカ惡イカ、其議論ハ十分ニ盡サレナイデアリマシタ云フ譯ハ、今日ノ預金規則ト云フモノガ甚ダ不完全デアッテ、十七八年頃ノ制定ノ儘現存シテ居ルヤウナ譯デアリマス、此度、政府

ガ愈々預金ノ規則ニ手ヲ著ケラレルニ付テハ、矢張リ其問題ヲ明瞭ニシテ置カナケレバナラヌ、デ、第一ニ政府ガ預金ヲ段々ト多ク預ッテ行クノガ善イデアラウカ惡イデアラウカ、國民ガ政府ニ信賴シテ零碎ナモノヲ持ッテ來ルモノヲ拒ム譯ニハ行カヌ、即チ郵便貯金ハ餘リ大キナ高ハ預ラヌト云フコトニ、預金ハ當初ノ規則ハナッテ居リマシテ、段々一口ノ制限モ設ケラレテ居ル、是レ以上多クノ預金ハ預ラヌ、又既ニ預ケタモノガ段々溜ッテ千圓トカ二千圓ノ高ニナレバ預金者ニ戻スノガ本當デアルケレドモ、ソレモ迷惑デアラウカラ預金者ガ何トモ言ハナケレバ預金者ノ同意ナシニ政府ガソレデ公債證書ヲ買ッテヤラウ、即チ預金者ノ同意ナシニ政府ガ自分ノ勝手デ預金ヲ公債證書ニ變換シテ保管シテヤル、斯ウ云フノガ最初ノ精神デアル、ソレニ伴ツテ當時日本ノ國民中ニハ此國債ト云フコトヲ深ク心配スル觀念ガ強カッタ、色ゝノ建議ガ政府ニ出マシテ國民ガ毎日十錢ヅツ積ンデ國債ヲ早ク償還シヤウデヤナイカト云フヤウナ、國民ノ間ニ國債ノアルコトヲ痛ク心配スル觀念ガ強カッタノデアリマス、ソレデ預金ト云フモノハ殘ラズ公債證書ノ價格ト云フモテ運用シテ、成ルベク政府ノ負擔ヲ少クシ、併セテ此公債證書ノ價格ト云フモノヲ市場デ維持シヤウ、是ガ本體ノ大藏省ノ趣旨デアッタ、所ヘ憲法實施トナツタノデアリマシテ、憲法ノ六十二條ニハ公債ヲ起シ其他國家ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スニハ議會ノ協贊ヲ要ストアッテ、預金ヲ政府ガ預カレバ、ソコニ政府ノ義務ガ生ズル、是ハ併ナガラ一々議會ノ協贊ヲ經ルト云フ譯ニ行カナイデ、預金ト云フモノノ爲ニ自然ニ政府ノ義務ガ生ズルト云フコトハ已ムヲ得マイ、併ナガラ其預金ヲ運用スル時ニ議會ハ協贊權ヲ有ツテ居ル、其協贊權ヲ侵スヤウナコトガアッテハナラヌ、ソレデ運用スルノハ宜カラウガ貸付ト云フコトハ宜シクナイ、即チ預金ヲ政府ガ預カッテ、ソレヲ運用スル、之ヲ貸付ケルト云フコトハ或ハ低利デ貸スト云フヤウナコトニナレバ、丁度政府ガ豫算デ同意ヲ得サウモナイヤウナ事柄ヘ金ヲ貸シタイト思フ時ニ之ヲ貸スト云フコトニナルト、自然ニ此帝國議會ノ豫算權ヲ侵スコトニナル、先刻、大臣ノ御説明ノ中ニ貸付貸付ト云フ言葉ヲ容易ニ御用キニナッタヤウニ私ハ聽イタノデアリマス、預金部ノ金ヲ以テ貸付ガ出來ルト云フコトハナイト私ハ思フ、運用利殖ト云フコトハ出來ル、其運用利殖ヲスルニハ詰リ公債證書ヲ買フトカ、確實ナル有價證券ヲ買フトカト云フコトニ付テ、是マデハ議會ハ運用利殖ト認メテ居ッタ、ソレデ興業銀行ノ債券トカ勸業銀行ノ債券トカ

云フヤウナ、法律ヲ以テ特殊銀行ヲ作ツテ其銀行ニハ政府ガ監理官ヲ附ケテ、恰モ政府ノ公債證書ト同ジャウナ債券ヲ發行スル銀行ガ出來タ場合ニ、ソレナラバ其運用ト云フコトヲ政府ノ公債證書ニ限ラズニ、勸業銀行ナリ興業銀行ノ債券マデモ善イカ惡イカト云フコトモ其當時大變議論ガ喧シカッタ、デ政府ガ特殊銀行ヲ作ツテ自分ガ監督シテ居ルモノハ確實ナリト見テ宜カラウト云フ上カラ、今日、勸業銀行、興業銀行ニ政府ガ預金ノ金ヲ放資スルト云フコトガ始マツタト私ハ記憶イタシテ居ル、其勸業銀行、興業銀行ノ債券ヲ政府ガ引受ケルカラ、資金ガ勸業銀行、興業銀行ニ出來マスカラ、其資金ヲ以テ如何ナル事ニ運用スルカト云フコトハ、是ハ政府ガ責任ハ持タヌコトニナル、若シ損ガアレバ、資金ガ勸業銀行ノ損、興業銀行ノ損デアル、併ナガラ事實ハサウデアルガ、府縣ナドヘ成ルベク安ク貸シテヤレト云フヤウナ話合ヒテ以テ即チ低利資金ナドト云フヤウナ言葉ガ出來タニ違ヒナイ、過日、大藏大臣ガ衆議院デ御發表ニナツタ數字ヲ見ルト色ゝノモノガアル、其モノト云フモノハ、ソレハ興業銀行ノ總裁、勸業銀行ノ總裁ガ大藏大臣ノ所ニヤツテ來テ相談シテ、斯ウ云フモノニモ金ガ要ルカラ債券ガ發行シタイ、宜カラウト云フヤウナコトハアッタカモ知レヌガ、併ナガラ大藏大臣ガ貸付ケルト云フコトデアルナラバ、議會ノ協贊ヲ經ナケレバ私ハ出來ヌコトト思フ、即チ大藏大臣ハ債券ヲ御引受ニナツタノデアル、確實ナル運用利殖ト云フコトハ貸付マデモ這入ルコトデヤナイトモノデアル、斯ウ思フ、此度ノ規則ニモ確實ナル運用利殖ト云フヤウナコトガアルガ、此確實ナル運用利殖ト云フコトハ貸付マデモ這入ルコトデヤナイトモハ思フ、ケレドモ從來ノ大藏省ノ預金部ヲ國立ノ銀行ニシテハドウカト云フヤウナ議論ハ大藏省デ多年アッタ議論デアリマス、今日モ尙ホ其空氣ガ殘ツテ居ルト私ハ思フ、是ハドウモ此會計法ニ對シテモ面白クナシ、又一般ノ貯蓄銀行ト云フ私立ノ貯蓄銀行ガアル、ドウモ是トノ關係モ面白クナイカラ、寧口貯蓄銀行モ大藏省ノ預金部モ合併シタ一ツノ完全ナ國立貯蓄銀行ヲ拵ヘテ、大藏省ノ預金部モ民間ノ貯蓄銀行モ、ソレニ總テ合同シタラドウダト云フ議論モアッタ時代ガアル、併ナガラ其事柄ノ得失ノ議論ノ熟サヌ以上ハ、大藏省トシテハ民間ノ貯蓄銀行ト云フモノヲ、ドコマデモ保護セナケレバナヌ、是ト競爭シテハイカナイ、デ、大藏省ハ自分ニハ銀行ヲ……大藏省預金部ハ自分ニハ銀行ハ營マナイ、サウ云フ譯デアルカラ預金部デハ金ハ預カル、金ハ預カッテ自分ガ此債務者ニハナルケレドモ、其運用ハ日本銀行或ハ勸

業銀行若クハ興業銀行ト云フ政府ノ直轄ノ下ニアル銀行ヲ通シテ運用利殖セシムル、此運用利殖ト云フモノハ日本銀行ノ場合ニ於テ公債證書ヲ買フ、即チ政府ノ發行セシメタ公債證書ヲ日本銀行ニ買ハセル、又此興業銀行、勸業銀行ニ於テ其銀行ノ發行スル債券ヲ引受ケサセル、即チ預金部ノ預金ト云フモノハ極メテ安全ナモノデアル、如何トナレバ政府ガ發行サセル公債證書デアル以上ハ國ガ破産スルマデ大丈夫、又興業銀行、勸業銀行ノ債券デモ興業銀行、勸業銀行ガ破産スルマデハ政府ガ損ヲ受ケル筈ハナイ、併ナガラ興業銀行、勸業銀行ニモ相當ナ理事者ガ居ルカラ、是ガ甚ダ拙イ運用ヲスルト云フコトモ、マア想像ガ出來ナイ譯デアル、サウナリマスルト色ゝ……政府ハ議會ノ協贊ハ經タクハナイ、議會ニ出スト云フト、ドウモ議會ハ喧シサウダ、成ルベク此興業銀行、勸業銀行ヲ説キ付ケテ因果ヲ含メテ、御前責任ヲ以テ貸セト云フ事柄ガ既往ニ於テ無イカト言ヘバ、ドウモ有ッタヤウデアル、西原借款トカ何トカ云フモノノ如キハ、ドウモ政府ガ其當時ノ政策上ヤツ仕事ノヤウニ見エル、是ガ愈、不拂ヒニナッタ場合ニハ甚ダ興業銀行トカ何トカ其當時之ヲ引受ケタ人ニハ氣ノ毒ニナル、氣ノ毒ニナルカラ先年ソレ等ノ責任ガ政府ニアルノデハナイカト云フコトヲ貴族院デ質問シタコトモアル、所ガ政府ハ其責任ハ無イト、斯ウ云フカラ若シ西原借款ガ不拂ヒトナッタ場合ニ迷惑ヲ銀行ガ受ケナケレバナラヌ、ソレハ銀行ガ因果ヲ含メラレテ、ウント言ッタコトガ惡イト云フコトニナルガ、サウ云フク、ルヤウナコトヲ政府ガスルノガ全體惡イノデアル、デ、今度ノ預金規則ガ御改正ニナルニ付テハ是マデアッタ色ゝノムヅカシイコトヲ、茲デ一掃ナサルト云フ御方針デアラウガ、第一ニ伺ヒタイノハ將來ハ之ヲ段々ト進メテ行ツテ、國立貯蓄銀行ト云フヤウナモノニマデモスル御考ガ今日存シテ居ルカ、無論、今度ノ法律ハソコマデ行ツテ居ナイケレドモ、他日ソコマデ行ク、サウシテ民間ノ貯蓄銀行ハ段々ニ官營ニ移シテシマフ、斯ウ云フ御考ガ幾ラカ御考ノ中ニアルカドウカ、ソレガマア第一點、ソレカラ今ノ運用利殖、確實ナル運用利殖ノ中ニ貸付マデモ御入レニナルノデアルカ、サウスルト預金部ガ直接ニ貸付ケナケレバナラヌヤウナコトニ思ハレマスガ、私ハサウデナイト思ヒマス、併シ今ノ御説明ノ中ニ貸付貸付ト云フ言葉ガアッタカラ、貸付マデ今後ハ入レル積リデアルカ、或ハ矢張リ從來ノ通リニ、日本銀行、勸業銀行、興業銀行ガ直接ニソコノ發行シタモノ、若クハソコノ公債證書ヲ御引受ケニナルト、斯ウ云フコトデアルカ、

ソレヲ承リタイ、第三ニハ公債……私ハ此政府ガ借金ヲ二重ニスルト云フコトハ宜シクナイト思フ、當初ノ預金部ノ規則ガ大變ニ宜イノデ、成ルベク政府ガ預金ノ集マツタモノデハ公債證書ヲ買ツテ置ケバ、例ヘバ五十億ノ公債證書ヲ發行シテモ十五億ハ預金部デ償還シタ形ニナル、公債證書ノ値段モ宜シ、政府ノ借金ヲ少クスル譯デアル、然ルニ公債證書ヲ政府ガ發行シ、預金ヲ設ケテ居ルガ、多クハ貸付ケル、十五億ノ公債證書ノ外ニ政府ガ借金ヲ増シテ居ル形ニナル、從來ノ明治ノ財政ノ中ニ歷代ノ大藏大臣ハ此點ニ付キマシテハ……近頃方針ガ變ハッタヤウデスケレドモ、公債證書ニ預金部ヲ多ク運用シテ居ル、英國ノ郵便貯金ノ如キハ全部公債ノ方ニ入レテ居ル、唯歐羅巴戰爭ノ爲ニ金ガ無クナッタ爲ニ規則ガ一時變ハッタヤウデアリマスケレドモ、慣例トシテハ殆ド全部公債證書ヲ買フカラ、其「コンソル」ト云フモノガ、始終值打ガ宜イ、自然、英吉利ノ國民ノ郵便貯金ト云フモノハ段々ト預金部ヘ買上グラレテ行ク、サウスレバ公債證書ノ値段ガ宜イ、公債證書ノ値段ガ宜ケレバ金利ガ自然下ガル、民間ノ株券ノ値ハ宜クナル、洵ニ結構ナコトト思フ、然ルニ近來公債證書ニ預金部ノ金ヲ多ク運用スルト云フコトヲ政府ガ兔角ナサラヌヤウニ思フ、當初ノ精神ガ變ハッタヤウニ思フ、是ハ甚ダ遺憾ト思フガ、大臣ハ此度預金部ノ改正ニ付テハ公債證書ヲ主タルモノニ運用セラレルト云フ御方針ニ戻ラレルカドウカ、其事ヲ伺ヒタイノデアリマス、此三ツノ點ニ付テノ御答ハ此法律ヲ審査スル上ニ付テノ精神ニ重大ナル關係アリト思ヒマスカラ、此場合、明カニ御答ヲ得テ置キタウゴザイマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（濱口雄幸君）阪谷男爵ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、第一點ハ貯蓄銀行ニ對スル所ノ政府ノ根本ノ方針ト申シマスカ、追々貯蓄銀行ヲ纏メテ之ヲ現在ノ預金部ヲ合セテ、大國立ノ貯蓄銀行ヲ設ケルト云フ考ガアルカ、此度ノ提案ニ於テハサウ云フコトハ見エテ居ナイケレドモ、將來ニ於テサウ云フコトヲスル考ガアルカト云フ意味ノ御質問ト伺ヒマシタ、國立貯蓄銀行ノ問題ハ申ス迄モナク極メテ重大ナル問題デアリマシテ、其影響ノ及ブ所ガ相當ニ深甚デアリマスルガ故ニ、大藏省ニ於テハ、阪谷男爵モ御承知ノ通り、年來研究ヲ怠ラナイ問題デアリマス、併ナガラ今日ニ於キマシテハ未ダ預金部ノ組織ヲ改メ國立ノ貯蓄銀行ヲ作ルト云フ結論ニハナカ／＼容易ニ達シマセヌ、併ナガラ此問題ハ相當ニ重大ナル問題デアリマスルガ故ニ、引續キ

マシテ調査研究ニハ意ラヌ積リデアリマスケレドモ、マダ實行的ノ考ヲ有ツニ至リマセヌ、是ハ將來ノ問題デアルト御承知ヲ願ヒタイ、第二點ハ預金部ノ資金ノ運用ハ専ラ公債ノ應募、引受、買入或ハ其他ノ有價證券ニ運用スベキモノデアル、貸付ト云フモノハ運用ノ範圍ヲ出デテ居ル所ノヤリ方デアル云フ如ク今ノ御質問デアリマシタガ、法律上カラ申シマスレバ私ノ解スル所ニ依レバ貸付モ亦一ツノ運用デアル……運用ノ一種デアルト、斯様ニ心得テ居リマス、先刻來、菅原君ノ御質問ニ對シマシテ預金部ノ資金ヲ各方面ニ貸付ケテアル如キ口吻ヲ以テ御答ヲ致シマシタガ、是ハ實際ノ事實ヲ申上ゲタノデアリマス、唯今、阪谷男爵ノ御話ノ通り、形式上、法律上ニ於テハドコマデモ興業債券ノ引受デアリマス、或ハ勸業債券ノ引受デアリマス、其債券ヲ預金部ニ引受ケシメタコトニ依ツテ金ヲ得マシタ、資金ヲ手ニ入レマシタ所ノ興業銀行ナリマシテ、其資金ヲ各種ノ事業會社ニ貸付ヲ致シマス、併シ是ハ實際ノ動キデアリマシテ、法律上カラ申シマスレバ、預金部ノ資金ヲ運用イタシマシタ所ハ、即チ特殊會社、特殊銀行ノ債券デアリマス、先刻ノ菅原君ニ對スル御答ハ、私ハ法律上ノ關係ヲ離レテ實際上ノ見地カラ御答ヲ致シテ居ツタノデアリマス、是ハ能ク御諒承ヲ願テ置カヌトイカヌ、併ナガラ是マデトテモ、特殊銀行ニ對シマシテモ貸付ガ運用ノ範圍ノ下デ行ハレテ居リマシタ、御承知ノ漢治萍公司ニ貸シマシタ所ノ金、是ハ正金銀行カラ出テ居リマスガ、預金部ノ關係カラ申シマスレバ、是ハ正金銀行ニ對スル所ノ貸付ニナックテ居リマス、即チ正金銀行ハ、或ハ勸業銀行或ハ興業銀行ノ如クニ債券ヲ發行イタシマセヌカラ、正金銀行ニ融通スル方法ト致シマシテハ貸付ノ外ナイノデアリマス、從テ現在ニ於テハ預金部ノ資金ヲ有價證券ニ放資ヲセズ、貸付ニ致シテ居リマスノハ、特殊銀行會社ニ對スル外ニハ、政府部内ノ他ノ會計、即チ一般會計若クハ預金部特別會計以外ノ、他ノ特別會計ニ對シテ貸付ヲ致シテ居リマスル外ニハ無イノデアリマス、然ラバ將來サウ云フ貸付ハ絶対ニ出來ヌカト申シマスルト、ソレハ前段申シマシタ通り、其貸付ノ程度方法ハ之ヲ別問題ト致シマシテ、法律上カラ貸付ハ運用ニアラズト政府ハ考ヘテ居リマセヌ、其事柄ノ選擇ハ無論委員會ニ於テ十分ナル所ノ審議ヲ盡サヌケレバナリマセヌガ、其諮問機關タル所ノ運用委員會デ十分ノ審議ヲ致シ、大臣ガ之ヲ適當ナリト認メタ場合ニ於テハ、法律上ハ私ハ貸付ヲモ爲シ得ルモノデアラウト、斯様ニ心得テ居リマス、第三點ハ預金部ノ資金ノ運用ト

公債トノ關係デアリマス、從來ノ沿革ハ唯今、男爵ノ御話ノ通りデアラウト思ヒマス、從テ將來ニ於キマシテモ國債ノ應募引受又ハ買入ニ重キヲ置クコトハ此處デ申上ゲテ毫モ差支ハアリマセヌガ、併ナガラ翻ッテ他ノ方面カラ考ヘテ見マスルニ、預金部ノ資金ハ即チ郵便貯金ガ其主タルモノデアル、其郵便貯金ハ全國ノ多數ノ國民ノ零碎ナル資金ガ集マッテ、十億圓以上ノ郵便貯金ヲ成シテ居ルノデアリマスカラ、其財源ハ即チ廣ク全國カラ吸收ヲサル、ノデアリマス、廣ク全國カラ吸收ヲサレマシタ所ノ多數ノ國民ノ貯蓄ニ成ル零碎ナル資金ト云フモノ、例ヘバ公債ナラバ公債ト云フガ如クニ、政府ノ一般目的ノ爲ニ其全部若クハ大部分ヲ使ヒマスルト云フコトハ、地方ノ資金ヲ中央ニ吸收イタシ、其結果、地方ノ產業資金ガ涸渇スルト云フ他ノ弊害ヲ伴フ虞レガアリマス、ソレ故ニ一面ニ於テハ公債ノ應募引受ニ運用イタシマスト同時ニ、他ノ一面ニ於テハ之ヲ地方ニ還元ヲ致シマシテ、ソレニ依ツテ、地方ノ產業資金ノ涸渇スルコトヲ防ギ、產業ノ發達ヲ圖ルト云フコトガ今日國民全體ノ希望シテ居ル所デアルト考ヘマス、從テ何レニ重キヲ置クカト云フコトハ遽ニ申上ゲルコトハ困難デアリマスガ、一面ニ於テハ之ヲ公債ニ運用スルト同時ニ、殆ドソレト同ジ位ノ力ヲ以テ之ヲ地方ニ廻シマシテ、低利資金トシテ地方ニ運用イタシマシテ、ソレニ依ツテ地方ノ產業資金ニ充當スル、此ニツノ目的ガ相對立イタシマシテ、之ニ依ツテ初メテ預金部ノ資金ノ運用ガ其完全ニ近ヅクコトガ出來ルデナイカト政府ハ左様ニ考ヘテ居リマス、從テ公債ニ運用スルト云フコトニ付キマシテハ男爵ト全然其意見ヲ同ジウスル者デアリマスガ、ソレト同時ニ地方カラ吸收シタル資金ハ之ヲ成ルベク地方ニ還元スルト云フコトモ併セテ考ヘタイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 唯今御答辯ノ漢治萍ノ正金銀行ヲ通ジテ貸付ガアルト云フコトハ憲法ノ六十四條、六十四條ニ觸レハ致シマセヌカ、國家ノ歲入歲出ヲ致シテ居リマスル外ニハ無イノデアリマス、然ラバ將來サウ云フ貸付ハ絶対ニ出來ヌカト申シマスルト、ソレハ前段申シマシタ通り、其貸付ノ程度方法ハ之ヲ別問題ト致シマシテ、法律上カラ貸付ハ運用ニアラズト政府ハ考ヘテ居リマセヌ、其事柄ノ選擇ハ無論委員會ニ於テ十分ナル所ノ審議ヲ盡サヌケレバナリマセヌガ、其諮問機關タル所ノ運用委員會デ十分ノ審議ヲ致シ、大臣ガ之ヲ適當ナリト認メタ場合ニ於テハ、法律上ハ私ハ貸付ヲモ爲シ得ルモノデアラウト、斯様ニ心得テ居リマス、第三點ハ預金部ノ資金ノ運用ト

則ヲ施行スルコトヲ認メラレテ居ルノデゴザイマシテ、此法律ノ規則ノ制定ヲ地方長官ニ限定セラレテ居ルノデゴザイマス、ソレガ爲ニ或場合ニ依リマシテハ、狹隘ナル水路等、各二三ノ府縣ニ跨ッテ居ル場合ニハ是ガ統一的ノ規定ヲ出スコトガ出來ナイ不便ガゴザイマス、ソレハ各府縣ニ跨ッテ居ル爲ニ利害關係ノアル爲ニ、規則ガ區々ニナッテ居ルコトガアルノデ、之ヲ統一スル規則ヲ作りタイト思ヒマシテモ、ソレヲ出スコトノ出來ナイヤウナ事情ニナリマスノデ、甚ダ不便ガ多イノデゴザイマス、尙且ツ今回ハ港灣ノ行政機關ノ統一ノ結果ト致シマシテ、各府縣ニゴザイマス所ノ港務部ノ如キハ稅關長ノ管掌ニ移リマスノデ、其結果、此規則ヲ制定イタシマスル權限ハ地方長官ニゴザイマスルト、或場合ニ依ッテハ不合理ノ結果ヲ來スヤウナコトニナツテ、是等ノ理由ニ依リマシテ、今回比三十條ノ「地方長官」トゴザイマスモノヲ「行政官廳」ト改正シテ、廣ク其權限ヲ以テ統一的ノ規定ヲ出シ得ルヤウニシタイ、斯ウ云フ趣意ナノデアリマス、委員會ハ斯ノ如キ簡單ナ案デゴザイマスルノデ一二簡單ナ質問ガゴザイマシタガ、歸スル所、全會一致ヲ以チマシテ可決ニ相成ッタ次第デゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 大山綱昌君 贊成
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵徳川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第、御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午前十一時五十八分散會

大正十四年二月十二日